# 揺れやすさマップ

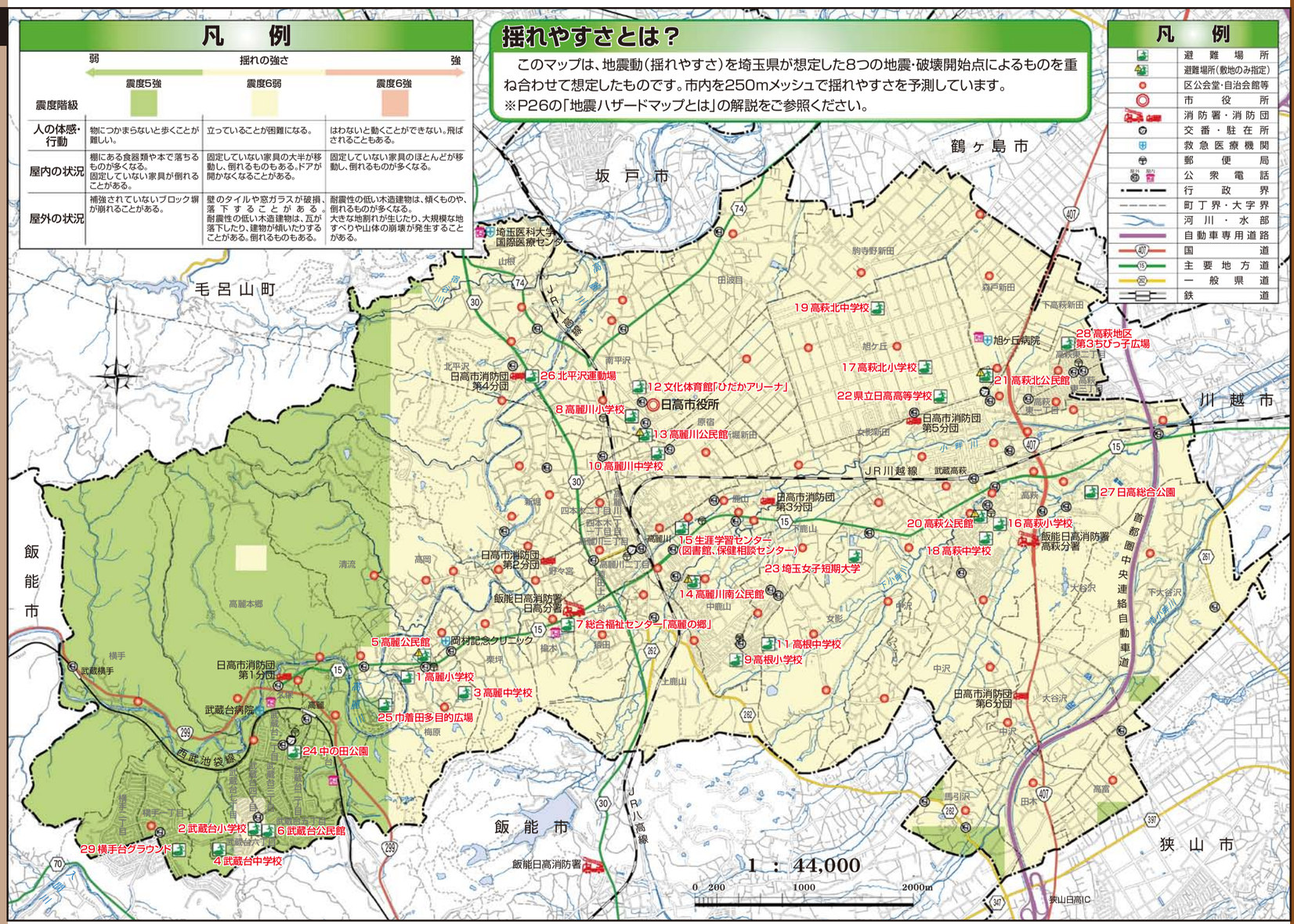
## 揺れやすさとは？

このマップは、地震動（揺れやすさ）を埼玉県が想定した8つの地震・破壊開始点によるものを重ね合わせて想定したものです。市内を250mメッシュで揺れやすさを予測しています。
※P26の「地震ハザードマップとは」の解説をご参照ください。

### 凡例

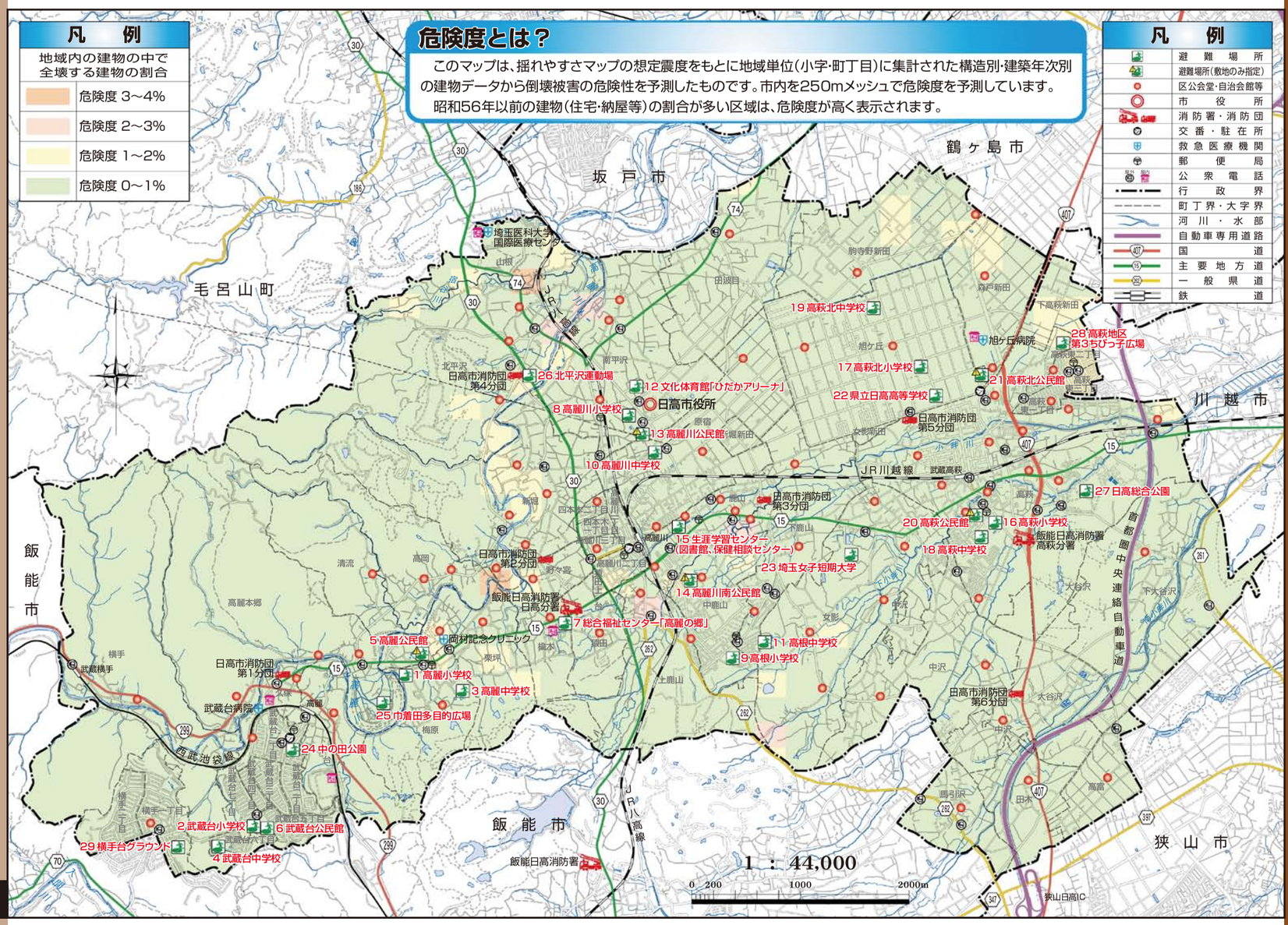
揺れの強さ：弱 ← → 強

| 震度階級 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度6強 |
|---|---|---|---|
| 人の体感・行動 | 物につかまらないと歩くことが難しい。 | 立っていることが困難になる。 | はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 |
| 屋内の状況 | 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れることがある。 | 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 | 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 |
| 屋外の状況 | 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 | 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 | 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 |






# 建物倒壊危険度マップ

## 危険度とは？

このマップは、揺れやすさマップの想定震度をもとに地域単位（小字・町丁目）に集計された構造別・建築年次別の建物データから倒壊被害の危険性を予測したものです。市内を250mメッシュで危険度を予測しています。
昭和56年以前の建物（住宅・納屋等）の割合が多い区域は、危険度が高く表示されます。